

科目コード	N317
授業科目名	緩和ケア論
授業科目名(英文)	Palliative Care
講義室等	1105
学科	看護学科
対象学年	3年
開講学期	前学期
必修・選択の別	選択
単位数	1
時間数	15
該当ディプロマ	◎看DP-2
該当コンピテンス	◎看CP-4、○看CP-3、△看CP-5
学科	
対象学年	
開講学期	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
該当コンピテンス	
担当教員	阿南あゆみ
授業の概要	がんおよび様々な疾患の特性に応じた緩和ケアにおける看護の役割について理解を深め、質の高い全人的ケアを実践するための基礎的知識を修得する。また、緩和ケアにおける自らの倫理観と死生観について考察し、今後看護者としてさまざまな看護の場における倫理的問題に気づき、検討できる力を養う。
授業の到達目標 (学修効果)	1. 緩和ケアの定義、目的、関連する概念、看護の位置づけを説明できる。 2. 緩和ケアにおける全人的苦痛の概念を説明できる。 3. 緩和ケアにおけるチームアプローチと看護の役割について説明できる。 4. 緩和ケアにおける倫理的問題について検討し、看護者に求められる行動について自分の意見を述べることができる。
予習復習の所要時間	講義時間16時間(2時間×1コマ×8回)+予習・復習29時間
成績評価方法	課題レポート(50%)、ワークシート毎回(40%)、授業への参加姿勢(10%)により、総合的に判定し、60点以上を合格とする。
教科書	宮下光令編集「ナージンググラフィカ成人看護学⑥ 緩和ケア」第3版(メディカ出版) ISBN 978-4-8404-7540-2
参考書	恒藤 暁、田村恵子編集「系統看護学講座 別巻 緩和ケア」第3版(医学書院) ISBN 978-4-260-03865-2
その他	本科目は選択科目であるが、「緩和ケア」はすべての看護領域に共通するケアの本質に関わる分野である。是非、学んでほしい。

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
1	R7.6.10	火	IV	緩和ケアの歴史、対象、目的	講義	永松 有紀		
				予習 テキストの該当部分を読んでおく				
				復習 講義内容の復習				
2	R7.6.17	火	IV	緩和ケアの基礎知識(定義、考え方、歴史、日本における緩和ケアの現状、看護師の役割)	講義	阿南あゆみ		
				予習 テキストの該当部分を読んでおく				
				復習 講義内容の復習				
3	R7.6.24	火	IV	緩和ケアの方法1 症状マネジメントと身体的苦痛の看護(身体症状概論、全身倦怠感、リンパ浮腫)	講義	阿南あゆみ		
				予習 テキストの該当部分を読んでおく				
				復習 講義内容の復習				
4	R7.7.1	火	IV	緩和ケアの方法2 症状マネジメントと身体的苦痛の看護(消化器症状、呼吸困難)	講義	阿南あゆみ		
				予習 テキストの該当部分を読んでおく				
				復習 講義内容の復習				
5	R7.7.8	火	IV	緩和ケアの方法3 精神心理的苦痛、社会的苦痛と看護	講義	阿南あゆみ		
				予習 テキストの該当部分を読んでおく				
				復習 講義内容の復習				
6	R7.7.15	火	IV	緩和ケアの方法4 生命倫理と緩和ケア	講義	阿南あゆみ		
				予習 テキストの該当部分を読んでおく				
				復習 講義内容の復習				
7	R7.7.22	火	IV	緩和ケアにおける看護の実際	講義	遠藤 千愛	2	
				予習 テキストの該当部分を読んでおく				
				復習 講義内容の復習				
8	R7.7.29	火	IV	非がん患者への緩和ケアの実際	講義	鍋島 直美	1	
				予習 テキストの該当部分を読んでおく				
				復習 講義内容の復習				